マカオ初の H7N9 患者 隔離終了

論尽媒体　aamacau.com　2016-12-24　18:18

衛生局が発出したニュースでは、**12** 月 **14** 日未明にマカオ初の **H7N9** 鳥インフルエンザ患者と診断された卸売商の店主 **58** 歳と濃厚接触者とされていた彼の妻とともに、山頂医院（宮本注：正式名称は仁伯爵綜合醫院：サンジャヌアーリオ病院：**Centro Hospitalar Conde de São Januário**）隔離病棟において自ら望んで単独隔離と抗ウィルス薬の服用による治療を受けていた。　医学観察期間中、感染者とその妻は、何度もの検査全ての結果、**H7N9** 鳥インフルエンザ・ウィルスが陰性となり、二人の健康状態も良好であった。**10** 日間の隔離医学観察期間が終了したため、妻は昨日医学観察が解除され、安全性の面から、感染者は昨日家庭での医学観察 **10** 日間とされた。

衛生局はまた、南粤の批発市場（卸売市場）の他の家禽従業員や患者に接触した消防隊員など **63** 名の一般接触者については、**10** 日間の医学観察トレースの結果何らの兆候も出ず、昨日医学観察が終了した。　また、民政総署の家禽撲殺スタッフ **32** 名の一般接触者中に **1** 名だけ発熱、気道症状が現れていたが、検査の結果、鳥インフルエンザが排除されている；　上述スタッフは本日既に医学観察のトレースを終了している。

2016 年 **9** 月以後、現地で感染患者が見つかった地区には、浙江、江蘇、広東、マカオ、香港、安徽及び上海が含まれている。

衛生局は、政府が既に鳥インフルエンザの対応プランの改定と十分な準備をしており、抗ウィルス製剤や個人の防護措置、施設での設備整備を行っているとしている。　衛生局は、継続して、国家及び近隣地区の衛生部門、**WHO** と緊密な連携をとり続け、各地とマカオにおける流行発生をモニターし、部門間をまたいだ、及び、公立私立の機構との協力を通じて、近隣地区やマカオで鳥インフルエンザが発生した際の予防準備活動をしているとしている。　但し、過去の経験から、衛生局は今後も近隣地区で **H7N9** 鳥インフルエンザ・ウィルスの活動が活発になる時期にあたるため、マカオ市民に対して以下の予防措置を採るようにと呼びかけている：

- 最近 **H7N9** 鳥インフルエンザが発生した地域の市街や農場など、鳥類の販売・展示している所には近寄らないこと
- 鳥類耶蘇の分泌物、排泄物には触れない；　もし接触したら直ちに手を洗うこと。
- 検疫を受けていない鳥は飼わない、持ち運ばないこと
- 加熱の不十分な鳥類の肉や内臓、血液製品及びタマゴなどを接種しないこと
- 個人の衛生に注意し、手洗いを励行すること；
- 発熱や咳、呼吸困難などの症状が現れたら、マスクをつけ、すぐに病院にゆき、医師に渡航歴と動物への暴露歴を告げること

H7N9 型鳥インフルエンザの詳細データについては、衛生局のホームページ（**www.ssm.gov.mo**）或いはそのオフィス時間内であれば衛生局伝染病ホットラインから閲覧できる。

http://aamacau.com/2016/12/24/%E6%9C%AC%E6%BE%B3%E9%A6%96%E5%AE%97%E6%84%9F%E6%9F%93h7n9%E7%A6%BD%E6%B5%81%E6%84%9F%E6%82%A3%E8%80%85%E7%B5%90%E6%9D%9F%E9%9A%94%E9%9B%A2/

:::::::::::::::::::::::::::::::　以下は中国語原文　::::::::::::::::::::::::::::::::

本澳首宗感染 H7N9 禽流感患者結束隔離

論尽媒体　aamacau.com　2016-12-24　18:18

衛生局發出新聞稿表示，就 12 月 14 日凌晨證實本澳首例人感染甲型 H7N9 禽流感病毒的 58 歲批發檔男檔主，以及被界定為密切接觸者的感染者妻子，在山頂醫院隔離病房自願接受單獨隔離，並且接受抗病毒藥物治療。在醫學

觀察期間，感染者及其妻子的 H7N9 禽流感病毒多次檢測結果均呈陰性，2 人健康狀況良好。在完成為期 10 日的隔離醫學觀察後，妻子於昨日解除醫學觀察，而為安全起見，感染者則於昨日改為家居醫學觀察，為期 10 日。

衛生局亦指，南粵批發市場的其他家禽從業員及接載確診個案的消防員共 63 名的一般接觸者，在進行 10 日的醫學觀察追蹤後均沒有出現任何病徵，昨日亦完成醫學觀察追蹤。而民政總署的家禽撲殺人員共 32 名的一般接觸者中只有 1 人出現發熱及呼吸道症狀，但經檢測已排除禽流感；上述人員已於今日已完成醫學觀察追蹤。

自 2016 年 9 月以來出現當地感染病例的地區包括浙江、江蘇、廣東、澳門、香港、安徽及上海。

衛生局表示，政府已訂定一套應對禽流感的應變計劃及作出充分準備，包括抗病毒藥物、個人防護裝置、設施設備等儲備。衛生局會持續和國家及鄰近地區的衛生部門、世界衛生組織保持密切聯繫，監測各地和澳門的疫情，通過跨部門和公私營機構合作，為鄰近地區或澳門一旦出現禽流感疫情做好預防和準備工作。但根據過往經驗，衛生局預計未來一段時間鄰近地區 H7N9 禽流感病毒活動趨活躍，呼籲全澳市民作出如下防範措施：

- 避免前往最近出現甲型 H7N9 禽流感疫情地區的街市、農場等有售賣或展示禽鳥的地方 ；
- 避免接觸禽鳥及其分泌物、排泄物；如有接觸，應立即洗手；
- 切勿購買、攜帶未經檢疫的禽鳥；
- 切勿進食未經徹底煮熟的禽鳥肉、內臟、血製品及蛋等；
- 注意個人衛生，經常洗手；
- 如出現發熱、咳嗽、呼吸困難等症狀，應戴上口罩，儘快就醫，並向醫生詳述旅行史及動物接觸史。

有關甲型 H7N9 禽流感的詳細資料，可查閱衛生局網頁(www.ssm.gov.mo)或於辦公時間內致電衛生局傳染病查詢熱線。

20161224B マカオ初の H7N9 患者 隔離終了(論尽媒体)